

製品情報

殺菌剤

石原トリフミン乳剤



殺菌剤分類

3

農林水産省登録	第17377号
有効成分	トリフルミゾール・・・・・・・・・・15.0%
その他化管法該当成分	ポリ（オキシエチレン）＝アルキルエーテル（1種）3.5% ナフタレン（1種）6.8% トリメチルベンゼン（1種）6.8%
性状	淡黄色澄明可乳化油状液体
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
危険物	第4類第2石油類
有効年限	4年
包装	(100ml×10本) × 6函 500ml × 20本

特長

✓ 稲の種子消毒と、野菜・花などの病害防除に使用できます。

✓ 薬剤の計量・希釈が容易にできます。

✓ 乳剤のため、作物に対する汚れの心配がありません。

✓ 予防効果と治療効果に優れ、病斑の拡大や孢子形成を阻止します。

適用作物と使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	トリフルミゾー ルを含む農薬の 総使用回数
稲	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病	30倍	—	浸種前	1回	10分間 種子浸漬	1回
		300倍				24～48時間種子 浸漬	
		5～10倍	乾燥種籾1kg当り 希釈液30ml			種子吹き付け処 理 (種子消毒機使 用) 又は塗沫処理	
小麦	赤かび病 うどんこ病	1000倍	60～150 ℓ	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内 (種子粉衣は1回 以内)
きゅうり	うどんこ病	2000倍	100～300 ℓ	収穫前日まで	5回以内		5回以内
なす	うどんこ病 すすかび病						
トマト ミニトマト	うどんこ病 すすかび病 葉かび病			—			
きく	白さび病	1000倍					
こんにゃく	乾腐病	30倍	150ml/種いも1 ㎡	植付前	1回	種いもの芽基部 に散布	1回
チューリップ	球根腐敗病		—			10分間 球根浸漬	

※本内容は2017年11月22日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤を稲の種子消毒に使用する場合には次の注意事項を守ること。
 - ・ 種子消毒は浸種前に行い、消毒後は水洗いせずに浸種すること。
 - ・ 浸漬処理の場合、粃と処理薬液の容量比は1：1以上とし、種粃はサラン網など粗目の袋を用い、薬液処理時によくゆすること。
 - ・ 薬液の温度は極端な低温をさけること。
 - ・ 吹き付け処理の場合は種子消毒機を使用し、種粃に均一に付着させて乾燥すること。また、塗沫処理の場合は適当な容器内で種粃を攪拌しながら薬液を滴下するなどして、種粃に均一に付着させること。
 - ・ 本剤の処理を行った種粃を浸種する場合は、次の事項を守ること。
 1. 浴比は1：2とし、停滞水中で浸種すること。
 2. 河川、湖沼、ため池などでは浸種しないこと。
 - ・ 本剤の処理により軽度の初期生育遅延を認めることがあるが、その後回復するので通常の管理を維持すること。
- ウリ科作物の幼苗期には、濃緑化症状および生育抑制が生じることがあるので、使用しないこと。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤の自動車等に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項



- 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、薬液調製時には保護メガネを着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。また、散布液も眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- 危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意すること。

魚毒性等

浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。